

県内上場企業の2024年9月中間決算と2025年3月期予想

【注】連結ベース、※は非連結。単位は百万円、%。カッコ内は前期比増減率、▲はマイナス。■は損失。－は未定。
信和は国際会計基準（I F R S）のため、経常損益は税引前損益。銀行は除く。

2024年9月中間				2025年3月期予想			
	売上高	経常損益	純損益	売上高	経常損益	純損益	
【電気機器・化学】							
イビデン	181,585 (▲3.2)	29,531 (10.1)	20,527 (14.7)	370,000 (▲0.1)	40,000 (▲21.8)	24,000 (▲23.8)	
未来工業	22,363 (3.1)	3,544 (6.6)	2,398 (6.4)	45,292 (2.7)	6,749 (▲9.7)	4,563 (▲10.8)	
ムトー精工	14,216 (5.9)	1,258 (▲13.7)	863 (▲19.9)	27,000 (2.6)	2,300 (▲5.5)	1,650 (▲6.9)	
【輸送用機器】							
太平洋工業	99,578 (▲3.0)	6,473 (▲37.3)	5,328 (▲29.3)	197,000 (▲5.0)	13,500 (▲28.3)	10,500 (▲38.1)	
J-MAX	22,279 (▲13.2)	■660 (拡大)	■1,015 (拡大)	46,000 (▲15.4)	■400 (赤字化)	■2,400 (拡大)	
レシップHD	10,310 (41.8)	1,176 (約2.7倍)	700 (約2.8倍)	24,000 (5.8)	1,800 (▲49.4)	950 (▲60.7)	
【繊維・紙・木製品】							
※セブン工業	7,654 (▲1.6)	57 (黒字化)	42 (黒字化)	15,547 (1.9)	113 (約2.6倍)	66 (黒字化)	
ハビックス	6,661 (1.9)	364 (1.6)	303 (9.6)	13,500 (2.2)	500 (▲43.3)	350 (▲48.1)	
【金属・機械】							
KVK	14,224 (▲2.9)	1,405 (24.8)	944 (33.3)	30,500 (2.4)	2,800 (▲2.3)	1,900 (▲4.1)	
信和	8,542 (29.0)	815 (64.2)	530 (56.0)	16,000 (26.2)	1,494 (約2.3倍)	1,000 (約2.4倍)	
和井田製作所	3,883 (3.8)	394 (▲35.0)	226 (▲40.7)	7,530 (▲0.1)	627 (▲42.5)	382 (▲47.4)	
【土石製品】							
TYK	15,642 (3.2)	2,365 (8.0)	1,517 (11.0)	30,630 (2.1)	4,000 (▲1.3)	2,550 (7.2)	
美濃窯業	7,232 (4.2)	774 (28.7)	531 (29.4)	15,500 (9.5)	1,600 (8.9)	1,100 (4.3)	
【小売り・卸売り】							
バローHD	422,016 (5.7)	12,209 (▲3.4)	6,736 (1.6)	840,000 (4.0)	26,400 (3.1)	12,300 (3.0)	
※セリア	115,899 (8.2)	7,701 (23.2)	5,093 (25.4)	234,350 (5.0)	15,650 (2.2)	10,300 (4.8)	
ジーエフシー	9,493 (3.9)	■19 (拡大)	■37 (拡大)	23,952 (9.2)	860 (▲1.0)	569 (▲4.9)	
【運輸】							
セイノーHD	331,604 (5.1)	13,159 (7.7)	6,434 (▲13.5)	731,304 (13.8)	33,939 (38.5)	19,707 (35.3)	
【サービス・情報・通信】							
トーカイ	72,725 (7.2)	3,917 (1.3)	3,041 (15.8)	142,925 (3.4)	8,195 (▲3.6)	5,578 (▲4.0)	
サンメッセ	8,044 (1.0)	171 (6.3)	108 (16.4)	17,160 (3.2)	483 (16.8)	315 (22.8)	
文溪堂	8,357 (▲1.7)	1,786 (2.0)	1,261 (3.4)	12,915 (0.3)	851 (▲18.9)	554 (▲19.3)	
中広	5,479 (19.5)	101 (▲7.7)	45 (▲25.0)	12,000 (17.2)	600 (94.9)	360 (86.8)	
日本ソフトウェア	2,447 (▲20.0)	■136 (赤字化)	■171 (赤字化)	－	－	－	

9月中間決算

県内10社増収増益

上場22社まとめ 事業基盤を拡大

県内上場企業22社（3月期決算、銀行を除く）の2024年9月中間決算が出そろった。原材料高や人件費上昇への対応が求められた中、各社は事業基盤の拡大を進めることで収益確保に努め、増収増益は10社（前年同期比2社増）となった。最終増益に限れば14社（同4社増）と、好調な企業が増えた。一方、25年3月期に最終増益を予想するのは前期並みの9社にとどまった。

増収増益だったのはバローHD、セリア、トーカイ、プHD、信和、サンメッセ、ホールディングス（H）未来工業、TYK、レシップHD、信和、サンメッセ、ハビックス、美濃窯業の10社。

社。最終減益（赤字化含む）は8社だった。

バローHDは関西地方の出店強化が奏功し、消費者ニーズを捉えた価格戦略も効いた。トーカイは事業買収でリハビリサービス事業とドラッグストア事業に新規参入し、信和は企業の合併・買収（M&A）で仮設施工工事を伸ばし、収益力を高めた。セリアは節約志向が高まる中、業界で唯一100円均一を堅持する企業姿勢に好感。未来工業は価格改定の浸透が寄与した。TYKは強化する海

外事業が好調だった。レシップHDは新紙幣発行に伴う特需があった。

半導体市場は回復の遅れが指摘される中、イビデンは生成人工知能（AI）用製品が好調な一方、パソコンや汎用サーバー向けの製品が低調に推移した。美濃窯業は半導体製造装置向けの投資需要を取り込んだ。

太平洋工業、J-MAXの輸送用機器の2社は苦戦したが、両社とも電気自動車（EV）シフトを見据えた投資には積極的だ。KVとセブン工業は住宅着工戸数が低調で推移する中、値上げによって利益を確保

した。

下期は米中对立への備えも迫られ、市場環境の不透明感が増す中において、慎重な見方を示す企業が多い。通期予想ではセイノーHDが増収増益で着地する見通し。子会社の新規連結効果に加え、運賃値上げも寄与する。また決算発表に合わせてセイノーHDやセリア、未来工業、ムトー精工など8社が上方修正を行った。